



研究者名※	神門侑子 KANDO Yuko	学位※	博士（工学）
所属※	建築デザイン学部 建築デザイン学科	職名※	助教
連絡先	kandoy@fc.jwu.ac.jp		
URL	https://www3.jwu.ac.jp/fc/public/architecture_and_design/index.html		
researchmap※	https://researchmap.jp/ykando		
研究分野※	都市計画・建築計画		
研究キーワード※	ユニバーサルデザイン、福祉住環境、障害者施設		
共同研究・競争的資金等の研究課題	強度行動障害のある者と支援者の住生活環境の改善に関する研究（一般財団法人住総研 研究・実践助成、研究分担者、2024年6月～2025年10月）		

研究領域	重度障害者の入所施設・グループホームの住環境、スウェーデンの知的障害者グループホーム、大学における合理的配慮に基づく環境整備	(SDGs)	  
研究テーマ※	障害者の心身の特性に応じた居住環境に関する研究 -障害者支援施設・グループホームの居住環境と一人暮らしへの支援に着目して-		
概要※ (概ね1000字以内) (写真・グラフ等自由)	【研究の背景・目的・内容】 日本では「施設から地域へ」という方針のもと、障害者の地域居住の推進が進められているが、障害の特性に応じた適切な住環境整備の実態や課題は十分に把握されていない。本研究は、3つの障害者の居住形態（施設・グループホーム・一人暮らし）に焦点を当て、それぞれについて入居者の障害や年齢の特性に基づく分類を行う。また、それらの類型に基づき、各居住形態の今後の入居者像を見据えた住環境整備のあり方を示すことを目的とする。調査対象のうち、施設とグループホームに関しては、近年入居者の障害の重度化、高齢化が進行していることから、特別な配慮が求められる重度の障害特性（強度行動障害、医療的ケア）と加齢による身体機能の低下（車椅子使用）に着目し、建築的なニーズを探る。また、一人暮らしについては、2018年から開始された、障害者の一人暮らしを相談中心に支援するサービスである「自立生活援助」に着目し、その利用者と支援の実態を明らかにする。 【研究方法】 ・全国アンケート調査：障害者支援施設、グループホームを対象に、入居者の障害特性・年齢・建築的配慮の実態等を把握し、入居者の属性により各居住形態を類型化 ・事例調査：建築的配慮に特徴のある施設・事業所を対象に見学とインタビューを実施 ・その他、スウェーデンの障害者GHの見学とインタビュー調査等を行なっている		
本研究関連特許・論文等	・神門侑子、松田雄二、鷺野史佳、大野真太郎、亀屋恵三子：救護施設に求められる機能と施設構成に関する研究、日本建築学会地域施設計画研究、第38巻、pp11-16、2020 ・松田雄二、神門侑子、西村顕、亀屋恵三子、藤井里咲、熊谷晋一郎：障害者支援施設の入居者特性に対応した分類と建築的配慮、日本建築学会計画系論文集、第89巻、第815号、pp9-19、2024 ・神門侑子、松田雄二、西村顕、亀屋恵三子、藤井里咲、熊谷晋一郎：障害者グループホームの入居者特性に		



強度行動障害のある入居者を受け入れる障害者グループホームの様子
(上：食堂、下：個室)

	対応した分類と建築的配慮、日本建築学会計画系論文集、第89巻、第818号、pp616-625、2024
共同研究・外部機関との連携への期待	・スウェーデンの障害福祉を専門とする研究者との共同研究 ・障害福祉分野の施設建築を手掛ける設計者・事業者との連携